



学びの庭

甲府市立甲運小学校
学校だより第4号
平成29年7月20日
(文責：勝村 正樹)



「家庭・地域社会」は我が子を伸ばす、重要な教育の場



本校も7月21日から夏休みに入ります。生活のほとんどの時間を家庭や地域で過ごすこととなります。

さて、「子どもたちの長期休業がなぜあるのか」といった疑問を持たれる方もありますが、主に次の二つの理由によるものです。

一つ目は「場」の問題です。「子どもは本来、学校・地域・家庭で育つものだ」ということです。普段、学校生活が中心になっている子どもの学習の場を家庭や地域で行う必要があるのです。

二つ目は「内容」の問題です。子どもの学習は、学校だけでは不十分だということがあげられます。学校では主に教科学習を中心に学習をしていますが、子どもたちは実際の生活はいずれ学校から離れ、「家庭生活」と「社会生活」となります。もちろんその生活をするための基礎的な力を学校生活で学ばせているのですが、実際にその力を使うのは「家庭や地域」「社会」なのです。

したがって夏休みは保護者の方々が「先生」であり、地域の方々が「指導者」でなくてはならないのです。

ぜひ、子どもたちに様々なことを「教えてやって」ください。

そのために参考になればといくつかのことをお伝えします。

1 我が子と一緒に過ごす時間をたくさんとってください。

普段、大人も子どもも忙しく、コミュニケーションが不足しがちなお宅も多いと思います。我が子が「何を考えているのか」「どのような状態にあるのか」を知り、お父さんやお母さんや家族がその子に対し、どのような気持ちを持っているのかを伝えるには、一緒に時間を過ごし、話をすることです。子どもたちが信頼する、好きな先生が「話を聞いてくれる先生」であるように、家の人にもっともっと「気持ちをわかってほしい」「話を聞いてほしい」と思っているのです。

2 家族の一人としての責任を果たさせてください

毎日当たり前のように食事をつくってもらい、掃除や洗濯をしてもらっている生活がどこにもあります。子どもたちはしてもらっている生活が当たり前のようになっています。でも「できるところは自分でする」「家族の役割を分担して生活する」ことを、休み中の生活の基本にすべきではないでしょうか。（「独り立ち」は「独りでできるようになる」ことです。）ぜひ、家族の一員としての責任を果たさせてください。

3 良いところに気づき、褒めてあげましょう。「豊かな心」が育ちます。

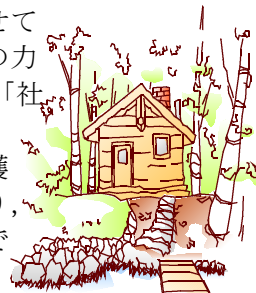
褒められることはいくつになってもうれしいことですし、次への意欲につながります。悪いところ、だらしのないところなどに細かく注意するだけではむしろ「私をそんな風に見ているんだ」と、反発ばかりが起きます。家の仕事をしたら褒めてあげ、「ありがとう」「助かるよ」と言ってあげてください。褒められることが「認められること」だと思います。

昔から良い子に育てるには「三つ褒めながら、一つ注意をすること」だと言われています。「褒められること」は「自分を認めてもらっていると自覚すること」であり、自己肯定感を持てますから「自分を大切にすること」につながり、自分の身や命を守ろうと思うようになります。「豊かな心」が育つのです。

4 個性を伸ばせる夏休みに

人にはそれぞれの「個性」という大事なものがああります。得意なところや苦手なところ、優れているところや劣っているところ、好きなことや嫌いなこと、みんな違うのです。

日常の学校生活では毎日、みんなと同じことをしていることが多く、見方を変えると自分の個性を我慢して生活しているのですが、夏休みは「自分に合ったことができる良い機会」なのです。勉強での個性もよし、運動や趣味での個性を伸ばしてもいいでしょう。



たてわり学級開き行われる 6年生がリーダーシップを発揮

6月20日にたてわり班の学級開きが行われました。会のはじめに各班のチーム名が発表されました。下級生の前に立って説明する6年生の姿がとても頼もしく映りました。これからのたてわり活動がとても楽しみにになりました。



各班のユニークなチーム名は次のとおりです。

○赤組

- 1班 キラキラかがやく 星空マスターズ
- 2班 あつくあつくもえあがれ ファイアーズ
- 3班 いんせきのようにもえろ レッドスターズ
- 4班 強く高く羽ばたけ ファイヤードラゴンズ
- 5班 海の王者 レッドカニーズ

○白組

- 6班 高くとびあがれホワイトドルフィンズ
 - 7班 すいすいおよげ！ペンギンズ
 - 8班 キラキラかがやけ ウォーターズ
 - 9班 大声でさけべ ホワイトベアーズ
 - 10班 もちもちもっちーズ
- 全部の班を応援していきます。

はっきりと大声で叫ぼう

万が一に備え防犯教室を実施しました

子どもたちが誰か不審な人物に声をかけられた時、足がすくんでしまっても何も言えないのでは大変なことになりかねません。

6月22日に警備会社の方をお招きして、防犯教室を開きました。

困ったら「助けて」と大声で叫ぶこと、車に乗っている人から声をかけられたら、「大人の人に聞いてください。」と断ることなどを教わりました。学校でも安全指導を徹底していきます。



サイエンスショーで大満足

第4回放課後子ども教室が開かれました

6月22日、「放課後子ども教室」がありました。この日は、県立科学館の講師の方が、楽しい科学実験を見せてくださいました。空気のでペットボトルが高く飛ぶ様子を見て子どもたちからは歓声が上がっていました。



1学期最後の授業参観、学級懇談会 道徳の授業を見ていただきました

授業参観と学級懇談会へのご出席ありがとうございました。おかげさまで、懇談会では保護者の皆様とのつながりを強めることができました。

道徳の授業では外部講師をお招きしてお話を伺う学年もあり、道徳を深く学ぶよい機会となりました。



元気アップで体力もアップ たてわり活動がいよいよ本格化

7月6日の2校時から業間休みにかけて、たてわり活動が行われました。

予め用意された紙に自分の顔、学年・組、名前を書いて、たてわり班の旗に貼り付けていきます。こうすることで、一人一人の思いが旗に込められるように感じました。運動会でもこの旗が子どもたちとともに活躍するにちがいありません。



業間休みには、たてわり班ごとに遊び、子どもたちのボルテージは最高潮となりました。これからも、たてわり班の絆を強めていってほしいと強く願います。

第1回学校保健委員会開催される 子どもたちの健やかな成長を願って

7月6日の午後、校医の先生方にご来校いただき、学校保健委員会を開きました。内科校医の新津先生からは、子どもたちを外で遊ばせてほしいこと、大人が子どもたちに対して適切な関わり方をすることが大切であることなどをご指導いただきました。



心がほっとスマイル

- ・「手紙が届いています。」と言って、4年生の子どもたちが、ありがとうレターを私に届けてくれました。見ると5年生からのもので、「バースデーカードを毎年ありがとうございます」と丁寧な文字で書いてあり、思わず笑みがこぼれました。
- ・「校長先生、おにごっこを一緒にできますか。」5年生が休み時間に私を誘ってくれました。次の機会には一緒に飛び回ろうと思います。

